

# 伊方再稼働許さず



金曜行動が26日に取り組まれました。三越前と四電前でそれぞれリレー

トーク。伊方原発の再稼働強行を批判しました。

参加者は「故郷は原発を許さない」などを歌い、「孫子に残す核のゴミ」とシュプレヒコールをあげました。フリートーク

紅葉が見ごろを迎えています。栗林公園、南湖の楓岸（ふうがん）あたりには紅葉が湖に映えています。



では「火力発電から脱却できない日本政府」に批判が相次ぎ、「佐多岬半島の住民を不安にさせない安定供給は再生可能エネルギーや地域電力でできる」「福島原発の汚染水を海に流すのはおかしい。他山の石ではありません。福島原発事故の時に放射能は海へ流れたが、冬の伊方原発で万二になったら東へ東へと流れてくる」「米軍のトモダチ作戦に従事した米兵が今も後遺症に苦しんでいる」など、語りました。

脱原発アクションイン香川では、12月1日に伊方原発再稼働中止を求めて行動する予定です。

# 民主香川

定価 月 100円  
発行所 民主香川社  
高松市藤塚町3丁目13-14  
☎(087)834-7311

## 寶田裁判 8日に判決

### 注目される高松高裁判決

高松市の老健施設に看護師長として転職した寶田都子さんが、会社や上司のパワハラ行為や長時間勤務によりうつ病を発症し、労災認定を求めた控訴審（高松高裁、片田信宏裁判長）が8日、判決を迎えます。午後3時に言い渡し。

寶田さんは15年に高松労働監督署から休業補償給付不支給の決定を受け審査請求や再審査請求を出しましたがすべて棄却。17年に高松地裁、20年に高松高裁に控訴し裁判を争っています。

控訴してからの特徴としては、地裁でも行われなかった証人尋問が行われ、元同僚の女性が勤務実態や寶田さんの様子を証言。また寶田さん自身が勤務時間を記録していたカレンダーなどを裁判所が預かるなどして判決の論点の一つになっています。結審後には弁護団が、「控訴審を通じてカレンダーの正しさ、ハラメントの実態を分かってもらえたのではないかと報告しています。」



寶田さんは、11月には「過労死弁護団全国連絡会議」が国に対して実施している要請行動に参加。（行動で）「訴えの中で最も多く語られたの

## ハリー・ライムの映画案内

### テーマ【マスク】 『バットマン』（89年 米）

【監督】 ティム・バートン  
【出演】 マイケル・キートン ジャック・ニコルソン  
キム・ベイシンガー

マスク生活も2年となれば、もうすっかりマスク着用にも慣れた感があるこの頃だが、日米の野球の頂上決戦を見ていて文化の違いを見た思いがした。「米ワールドシリーズ」は、観客も選手も誰もマスクをしていない。一方「日本シリーズ」は、見た限り観客もベンチの選手たちもマスクをしてるのだ。あるラジオのパーソナリティが、欧米のヒーローはみな口元をシテイの闇に跳梁し悪を粉砕するバットマンと犯罪組織のボス・ジョーカーとの戦い。ちなみにバットマンの相棒ロビンや敵役キャットウーマンも顔の上半分を隠すスタ



バットマン



鞍馬天狗

開けて目の周りを覆うマスクも覆面が多く、いっぽう、日本の活劇ヒーローは、目元を開けて口元を隠すマスクも覆面だ、よって日本人がマスクに慣れているのは文化の違いだ、という説だった。確かにバットマンは目元を隠している。『バットマン』。DCコミックスの誇りスーパヒーローを巨費を投じて映画化した大作。ゴッサム・イルである。西洋チャンバラ活劇の怪傑ゾロも目を隠している。『アラシ・ドロンゴ』(74・伊川俊)。古くはダグラス・フェアバンクスやアイロン・パワーから何度も映画化されている英雄譚に、A・ドロンゴが挑んだ大活劇ロマン。『マスク・オブ・ゾロ』(98・米)ではアンソニー・ホプキンスとアントニオ・バンデラスがゾロを演じた。『オペラ座の怪人』(04・米・英)。『アマデウス』(84・米)、『ヴァン・ヘルシング』(04・米)。邦画では、キムタクの『マスクレイド・ホテル』(19)に出てくる仮面舞踏会でも人々はほぼ目元を隠したマスク仮面のいでたちだ。一方、『鞍馬天狗』(28)。アラカン嵐寛寿郎の当たり役。幕末が舞台だから1850年ごろの怪傑ゾロと同時代が背景である。ゾロと違ってこちらは着物だから「頭巾」で口元を覆うスタイルである。昭和の活劇ヒーローは、『月光仮面』だが、こちらはサンクラスも着用していて、目元も隠している。

梁居 来夢

は労働基準監督署の不適切な対応に関するもので、複数年に渡り労災申請を受け付けず放置された事例や、被災者の聴取の身をもって不認定にした事例等々耳を疑うものばかりだった。同席した弁護士が、国側が勝つことのみをこだわる現在のようなり方はするべきではないと苦言を呈しました」と、「支援する会」のニュースに載せています。

香川県の消費税廃止各界連絡会と消費税をなくす会は24日、消費税減税を求める署名行動をしました。

## 消費税減税の宣伝・署名 「各界連」と「なくす会」

香商連の山本貴代事務局長、池野元章東部地区委員長が「ガソリンや食料品などの価格も高騰し、負担は家計に重い」「消費税が増税して入院ベッドが削減された。消費税は、福祉にはほとんど使われていない」「岸田政権の補正予算は暮らしや経済対策に役立っていない。野党が繰り返して求めてきた消費税減税こそ、経済対策



だ」など訴え、署名を呼びかけました。

「5%に下げて、どんなになるん」と聞いてきたおじさんに、参加者の一人は「財源は無駄なところを削れば出てくる」と軍事費などをあげ論じました。署名に応じた市内の女性(64)は「食材から薬局の薬までなんにでも消費税の負担を感じます。コロナ感染症が続いているので一時的にでも減税してくれたら(生活が)楽になる」と話しました。

## 講演会のご案内

### 「持続可能な社会の実現」 気候危機打開の展望

◎日時 18日(土)13時半  
◎会場 県社会福祉総合センター 7階 会議室  
◎講師 日本共産党政策委員会 佐藤 洋 氏

## 愚台太

半身浴に浸かりながら週刊紙の投稿詩を読んでいます。作者は、女性。題名は『「いのち」って?』  
▼なにによりいのち／一字一字抑えながら読んだ4歳児／「いのちってなに?」戸惑ったわたし／手を取り頬に押しつけ／「あったかいもの／ほらおばあちゃんの手も／みいちゃんの手もあったかいでしょ」／「しんだらつめたくなるの?」／「そう 冷たかたくなるの」／「コロナでしんだ人も?」／「みんなそうだよ」／「おあちゃんも!」：(中略)：「おあちゃんの手しわしわでもあったかい」／4歳児はしっかり握り返した。  
▼みいちゃんは、選挙中に目にした日本共産党のポスターのひとことがずっとなんか気になっていてお婆ちゃんと風呂に入った時に聞いてみようと思っていたのでしょね。私は頭まで湯に沈んでから両手で顔を拭いた。そして私も「孫が欲しい」と思った▼選挙中共産党の訴えは確実に国民に届いているのです。「共闘は失敗だった」の大宣伝が聞かれますが、一本化した2007の小選挙区の結果を見れば「野党共闘失敗論」がまったくのデマであることは明白です。市民と野党との共闘を広めて7か月後の参議院選挙に臨みたいものです。(も)